

新スローガンを掲げる太宰新会長（右）と曾根前会長

太宰新体制スタート

「熱く語り 深く議論」

倉青協

倉庫業青年経営者協議会（曾根和光会長）は12日、総会を開き、事業計画などを承認した。任期満了に伴う役員改選では、曾根会長（47、ダイワコープレーシヨン）が退任し、後任に太宰栄一氏（48、白石倉庫）が就任。太宰氏は新体制の

スローガンとして「SOKO goes on」、副題に「Talk About SOKO, More Deeply」を掲げ、「倉庫についてもっと熱く語り、深く議論しよう」と呼び掛けた。

曾根氏が「150人の経営者をまとめるのは大変ではないかと思ったが、会員や事務局の協力で任務を果たせた」と振り返った。

2014年度は、10月に福島県郡山市で全体会を開催。被災地で県産米の放射線検査の取り組みなどを見学した。また、3月に行わ

れた大阪市での全体会議で全員参加型情報交換会を行つた。

15年度は、広報委員会を新設して情報発信を強化す

る。新スローガンについて、太宰氏は「倉庫業界の未来は先細りと言う人もいるが、あえて倉庫業についてもっと話し合い、誇りを持つてもらうためにこの言葉を選んだ」と話した。

来賓の国土交通省総合政策局物流政策課物流産業室の坂巻健太・大臣官房参事官（物流産業）も「倉庫は生産と消費をつなぐ拠点。倉庫行政に携わる者として誇りを持ち、倉庫のプレゼンスを高めていきたい」と強調。

総会終了後、島根県神社庁参与で万九千（まんくせん）神社宮司の錦田剛志氏が「伊勢神宮と出雲大社の御遷宮という佳節に経営者が学ぶべきこと」をテーマに講演を行つた。

（吉田英行）

